

# 一般社団法人 教育システム情報学会

Japanese Society for  
Information and Systems in Education

## ニュース・レター No.205



発行日 2016年11月30日  
発行所  
一般社団法人  
教育システム情報学会  
発行者 仲林 清  
〒599-8531  
大阪府堺市中区学園町1-1  
大阪府立大学 真嶋研究室内  
URL <http://www.jsise.org>  
E-MAIL [secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)



2017 年度全国大会のご案内・・・・・・・・・・1	2016 年度 JSiSE 学生研究発表会
特集論文募集・・・・・・・・・・2-3	発表者募集のお知らせ・・・・・・・・18-20
Call for Papers: The Journal of Information and Systems in Education, Vol.16・・4	ワークショップ「成果発表を磨く」開催・募集 のお知らせ・・・・・・・・・・21
教育システム情報学会英文誌論文募集 (Vol.16 冬期募集)・・・・・・・・・・5-6	支部活動報告・・・・・・・・・・22
2016 年度研究会開催スケジュール・・・・・・・・7	学会 Twitter, Facebook ページのご案内・・・・・・・・23
第4回研究会プログラム・・・・・・・・・・8-9	他団体協賛・後援のお知らせ・・・・・・・・24
第5回研究会プログラム・・・・・・・・・・10-12	会費納入のお願い・・・・・・・・・・25-26
第6回研究会発表募集・・・・・・・・・・13-14	事務局より・・・・・・・・・・27-28
特集論文研究会発表募集・・・・・・・・・・15-16	会員専用ページの案内, 学会誌・研究報告バックナンバーのご案内
研究会報告の電子化と年間購読 の申し込みについて・・・・・・・・・・17	新入会員のご紹介, 入会のご案内,



## 2017 年度 JSiSE 全国大会(第 42 回)のご案内

2017 年度全国大会の開催日と開催場所が  
決まりました。

開催日： 2017 年 8 月 23 日(水)～25 日(金)

開催 北九州国際会議場

場所： <http://www.convention-a.jp/kokusai-kaigi/>

是非ご参加ください。

大会の詳細は、随時 Web サイト等でご案内いたします。

## 特集号論文募集

### —安心・安全な社会に貢献する教育システム— —プログラミング・情報技術教育に関する実践・支援システム—

本特集号では、近年社会における需要が急速に高まっている2つのテーマ、「安心・安全な社会に貢献する教育システム」と、「プログラミング・情報技術教育に関する実践・支援システム」に関する論文を募集いたします。当該分野における新たな教育支援技術、ならびに当該分野の技術を応用した教育実践に関する研究開発の論文を幅広く募ります。一般論文・実践論文のみならず、ショートノート・実践速報としてのご投稿も歓迎いたしますので、奮ってご投稿ください。

#### 1. 対象分野

##### A) 安心・安全な社会に貢献する教育システム

教育・学習は、安心・安全な社会を基盤としてより良く発展していきます。しかし、安心・安全な社会を維持するために我々が取り組むべき課題は多様かつ複雑化しています。このような状況において、大規模自然災害やテロリズムのみならず、事故や感染症など日常生活に潜むさまざまなリスクについて教育・学習することは重要であり、安心・安全な教育・学習環境を構築することも急務です。これらのことにICTが大きな役割を果たすことは言うまでもなく、安心・安全な社会に貢献する教育システムの充実が期待されています。そこで本特集号では、防災・減災、医療・看護・福祉、セキュリティ、情報モラル、情報リテラシ、情報・教育インフラなどの幅広いトピックを対象に、安心・安全な社会に貢献する教育システムに関する論文を広く募集いたします。

##### B) プログラミング・情報技術教育に関する実践・支援システム

従前よりICT技術者を目指す学生や、関連業種に就いた際の研修などにおいて、プログラミングおよび情報技術（ネットワーク、データベースなど）の教育が重視されてきました。一方、ICT技術は社会において遍在的な存在となっており専門的な技術者育成の場以外においても、これらの教育が広く実施されつつあります。特に近年においては、情報教育の一環として小・中学生、高校生に対してプログラミング教育の導入が順次進められているとともに、私塾においてプログラミング学習の場が設けられるようになってきました。また、中等教育においては、プログラミングのみならず、情報科学・技術の基礎について学習することも求められています。以上の背景をふまえて、本特集号ではこのような状況の中、様々な学習者に対して必要とされるプログラミング・情報技術教育に関する実践や支援システムについての論文を広く募集いたします。

#### 2. 論文種別

通常と同様、すべての種別（一般論文、実践論文、ショートノート、実践速報）の論文を募集します。なお、査読結果により、異なる種別での採録となる場合もあります。また、編集委員会の判断で、一般投稿論文として扱うことになる場合もあります。あらかじめご了承ください。

### 3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください。 Web 投稿の際には以下の点にご注意ください。

- 「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください。
- A), B)のうちどちらのテーマに関する論文であるかを、投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に明記してください。
- 特集論文研究会（2017年3月18日（土）開催予定）で発表を行った方は、投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に、特集論文研究会での発表題目と発表番号を記載してください。
- 英文で投稿される場合は、本会英文誌へ投稿してください。英文誌においても同一特集名の特集号論文として取り扱い、和文誌と同様のスケジュールで査読を行います。

英文誌ホームページ：[http://www.jsise.org/journal/journal\\_en.html](http://www.jsise.org/journal/journal_en.html)

### 4. スケジュール

- 特集論文研究会：2017年3月18日（土）  
会場：北九州市立大学  
発表申込締切：2017年1月中旬／原稿提出締切：2017年2月初旬
- 論文投稿締切：2017年6月5日（月）
- 掲載予定巻号：2018年4月1日発行予定の学会誌（Vol.35, No.2）  
（採録通知送付予定：2017年11月初旬頃）

### 5. 特集号編集委員会

委員長：小西達裕（静岡大学）

副委員長：瀬田和久（大阪府立大学）、西野和典（九州工業大学）

幹事：田中孝治（北陸先端科学技術大学院大学）、布施泉（北海道大学）、笠井俊信（岡山大学）、光原弘幸（徳島大学）、國宗永佳（信州大学）

委員：学会誌編集委員、特集号編集委員

### 6. 問い合わせ

- 特集号全般に関する問い合わせ：  
特集号編集委員会副委員長 瀬田和久（大阪府立大学）  
E-mail: [seta@mi.s.osakafu-u.ac.jp](mailto:seta@mi.s.osakafu-u.ac.jp)
- Web 投稿に関する問い合わせ：  
教育システム情報学会編集事務局  
電話：03-5389-6492, E-mail: [jsise-edit@bunken.co.jp](mailto:jsise-edit@bunken.co.jp)  
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-19 株式会社国際文献社 長澤

## Call for Papers

The Journal of Information and Systems in Education, Vol.16

\*It is published as Open Access Journal through J-STAGE.

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ejsise>

\*All articles are available through leading search engines and academic information services, such as Google Scholar and CiNii.

[https://www.jstage.jst.go.jp/pub/html/AY04S510\\_en.html](https://www.jstage.jst.go.jp/pub/html/AY04S510_en.html)

JSiSE (Japanese Society for Information and Systems in Education) has published *The Journal of Information and Systems in Education* since 2002. The editorial committee of the journal welcomes submissions of articles for Volume 16 of the journal.

Computers and network communications technology, which are the bases of information communication technology (ICT), have infiltrated various aspects of education, including styles of teaching and learning activities. Elementary, higher, enterprise, and lifelong educational institutions are incorporating various kinds of ICT equipment in synchronous and asynchronous learning. Many advanced companies have identified that “e-learning” frameworks are very important to their employees in order to acquire knowledge and skills depending their jobs. In these developing environments for e-learning, learning technology research and contribution are getting increased attention for effective and successful e-learning. Although research in this area has continued for over 50 years, it remains one of the most critical issues for learning activities today.

*The Journal of Information and Systems in Education* aims to spread outstanding research and practice results in the field of learning technology to professionals all over the world. To contribute the progress of learning technology research and practice, researchers and practitioners are encouraged to submit their advanced results in the topics below.

### Scope:

The topic of papers includes but is not limited to:

- Learning technology systems: infrastructure, frameworks, architectures, etc.
- Methodology and pedagogy of e-learning: collective, instructional, collaborative, etc.
- Administration, maintenance, and evaluation of e-learning activities
- Core technology related to learning technology: database, artificial intelligence, etc.
- Sciences related to learning technology: cognitive science, educational psychology, etc.

### Important Date:

Submission Deadline: 14 December, 2016 (Extended)

### Instruction for Manuscripts:

Please refer to the “Authors Instruction” in the JSiSE Web site below in preparing manuscripts for submission.

<http://www.jsise.org/journal/pdf/AuthorsInstruction.pdf>

### Paper Submission:

Authors must submit their papers through the web submission system at:

[https://bunken.org/jsise/journal\\_e/applicant/login.html](https://bunken.org/jsise/journal_e/applicant/login.html)

### Publication:

For papers submitted before the submission deadline, notification of acceptance or non-acceptance will be sent to the author by the end of June 2017.

Accepted papers will be appeared in Vol. 16 (2017) after proofreading and so on.

<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/ejsise/>

### Contact Address:

JSiSE International Journal Editorial Office

E-mail: [jsise-edit@bunken.co.jp](mailto:jsise-edit@bunken.co.jp)

## 教育システム情報学会英文誌論文募集 (Vol.16 冬期募集)

### The Journal of Information and Systems in Education, Vol. 16

現在論文投稿を募集している教育システム情報学会英文誌, Vol. 16 の投稿締切を延長しました。延長後の締切は12月14日となります。ただし, 12月7日までに草稿を投稿していただくようお願いいたします。12月14日まで修正可能です。

※J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルです。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ejsise>

※J-STAGE を通して, Google Scholar, CiNii を初めとする国内外の主要な検索エンジンや学術情報サービスと連携しており, 掲載された研究成果は国際的にも認知可能となります。

[https://www.jstage.jst.go.jp/pub/html/AY04S510\\_ja.html](https://www.jstage.jst.go.jp/pub/html/AY04S510_ja.html)

教育システム情報学会では, 2002 年から毎年定期的に英文誌 : The Journal of Information and Systems in Education を発行しています。2011 年からは, J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルに移行し, 国際的な発信力を強化しています。このたび, Vol.16 に掲載する論文を募集いたします。教育システム情報に関連した領域全般を対象としておりますので, 是非, この機会に多くの方々にご投稿いただき, 革新的な研究成果, ユニークな実践等を世界に向けて積極的に発信していただきたいと思っております。下記の要領に沿って, ご投稿いただきますよう, お願いいたします。

○論文種別 :

原著論文(Original Paper), 実践論文(Practical Paper),

ショートノート(Short Note), 実践速報(Report on Practice)

○投稿締切 :

2016 年 12 月 14 日 (延長しました)

締切までに投稿いただいたものは, 2017 年 6 月末までに採否を通知する予定です。採録された論文については校正等の手続きを経たうえで順次 Vol.16(2017)に掲載させていただく予定です。

○投稿要件

・論文は他学会において査読中でないこと, そして, その主要部分が未発表であること。ただし, 国際会議, 学会の大会, 研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。

・投稿者は本会会員である必要はありませんが, 本会会員である場合には掲載料に会員の価格が適用されます。投稿者が 2 名以上の連名の場合は, そのうち少なくとも 1 名が会員であれば, 掲載料に会員価格が適用されます。

○原稿執筆要領：

英文論文誌もしくは下記の URL を参照してください。

<http://www.jsise.org/journal/pdf/AuthorsInstruction.pdf>

○投稿方法

※電子投稿システムを利用して投稿を行ってください。

- ・ 下記 URL より電子投稿用 Web ページにアクセスしてください。

[https://bunken.org/jsise/journal\\_e/applicant/login.html](https://bunken.org/jsise/journal_e/applicant/login.html)

- ・ 初めて電子投稿システムを利用する場合は、まず利用者用 ID の発行手続きを行ってください。
- ・ 投稿論文は印刷イメージに近い書式で PDF ファイルとして作成し、アップロードしてください。

※査読・判定結果の言語の希望（英語または日本語）を電子投稿システムの「Comments to the Editorial Office」欄に記入してください。希望の記入がない場合、言語は英語になります。なお、希望にそえない場合がありますので、予めご了承ください。



## 2016 年度 研究会開催スケジュール

<b>第3回研究会（担当：小西達裕，林 敏浩，安間文彦）</b>
◆ テーマ：ICT を利活用した高等教育機関の教育連携／一般 ◆ 日 程：10月1日（土） ◆ 場 所：香川大学 幸町キャンパス ◆ URL： <a href="http://www.jsise.org/society/committee/2016/CFP_3rd.html">http://www.jsise.org/society/committee/2016/CFP_3rd.html</a>
<b>第4回研究会（担当：小尻智子，曾我真人，長谷川忍，柏原昭博）</b>
◆ テーマ：身体知・経験知に関わる学習支援／一般 ◆ 日 程：12月10日（土） ◆ 場 所：近畿大学 東大阪キャンパス ◆ URL： <a href="http://www.jsise.org/society/committee/2016/CFP_4th.html">http://www.jsise.org/society/committee/2016/CFP_4th.html</a>
<b>第5回研究会（担当：光原弘幸，佐々木整，三石 大）</b>
◆ テーマ：新技術による教育・学習環境の構築と教授設計／一般 ◆ 日 程：1月7日（土） ◆ 場 所：愛媛大学 ◆ URL： <a href="http://www.jsise.org/society/committee/2016/CFP_5th.html">http://www.jsise.org/society/committee/2016/CFP_5th.html</a>
<b>第6回研究会（担当：西野和典，鷹岡亮，浅羽修丈，西端律子）</b>
◆ テーマ：ICT を活用したアクティブ・ラーニング／新教育課程／一般 ◆ 日 程：3月18日（土） ◆ 場 所：北九州市立大学 ※ 特集研究会と同時開催





## 2016年度第4回研究会 プログラム

担当：長谷川 忍、柏原 昭博、小尻 智子、曾我 真人（研究会委員会）

■テーマ：

「身体知・経験知に関わる学習支援／一般」

■開催日時：

2016年12月10日（土） 10:25-15:00

■会場：

近畿大学（東大阪キャンパス）17号館102教室

（〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1）

近畿大学（東大阪キャンパス）へのアクセス：

<http://www.kindai.ac.jp/about-kindai/campus-guide/access.html>

■タイムテーブル

発表時間は30分（発表20分、質疑10分）

[開会挨拶 10:25-10:30]

[セッション1 10:30-11:30]

セッション1（一般発表）

(1)10:30～11:00

遠隔でAR物体を共有可能なデザイン学習のためのインタフェース

○片平怜士（和歌山大学大学院），曾我真人（和歌山大学）

(2)11:00～11:30

動画や動的オブジェクトを含む数学のCBT問題の試作

○高木和久（高知工業高等専門学校）

[休憩 11:30-13:00]

[セッション2 13:00-15:00]

セッション2（テーマ発表：身体知・経験知に関わる学習支援）

(3)13:00～13:30

デジタル環境下での効率的な色識別能力向上支援システムの研究

○大坪 誠，長谷川忍（北陸先端科学技術大学院大学）

(4)13:30～14:00

A Prototype Virtual Learning Platform for Teaching Skills of Designing  
and Producing OVLs in Classrooms

○Mohamed Elsayed Ahmed Mohamed，長谷川忍（北陸先端科学技術大学院大学）

(5)14:00～14:30

物語文における意図理解支援のための疑似力覚呈示とその評価

○梅津和朗, 柏原昭博 (電気通信大学大学院)

(6)14:30～15:00

多様な手本動作をリアルタイムに提示する動作学習支援システムの提案と構築

○吉永稔弘 (和歌山大学大学院), 曾我真人 (和歌山大学)

■懇親会:

18:00～ 懇親会を ET 研と合同で開催予定です。場所は、近鉄長瀬駅もしくは布施駅近辺を予定しております。予約が必要です。

■お問い合わせ先:

和歌山大学システム工学部 曾我真人

E-mail: [soga@sys.wakayama-u.ac.jp](mailto:soga@sys.wakayama-u.ac.jp)

\*各予稿を Web 上からダウンロードするためには、研究会当日に予稿集を購入し(1000 円)、渡されるパスワードが必要です。なお、年間購読(4,000 円)を申し込まれている方には、研究会開催日の約 1 週間前から会員専用マイページで研究会報告ファイルがダウンロード可能となる予定です。

\*年間購読を申し込むと、年 6 回の定例研究会と 1 回の特集研究会の計 7 回分の研究報告を読むことができます。申込方法等は、こちら (<http://www.jsise.org/utility/information/20160222.html>) をご覧ください。



## 2016 年度第 5 回研究会 プログラム

担当：光原弘幸(徳島大学)，三石 大(東北大学)，佐々木整(拓殖大学)，高木正則(岩手県立大学)，  
鷹野孝典(神奈川工科大学)

■テーマ：「新技術による教育・学習環境の構築と教授設計／一般」

■開催日時：2017 年 1 月 7 日 (土)

※三連休の初日にあたりますので、お早めに宿泊先を確保されることをお勧めします。会場の愛媛大学周辺は観光地(道後温泉や松山城など)のため、宿泊先の混雑が予想されます。

■会場：愛媛大学城北キャンパス(〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番)

城北キャンパスへのアクセス：<https://www.ehime-u.ac.jp/overview/access/johoku/>

\* 以下の各予稿をダウンロードするためには、研究会当日に予稿集を購入し(1,000 円)、渡されるパスワードが必要です。なお、年間購読(4,000 円)を申し込まれている方には、研究会開催日の約 1 週間前から会員専用マイページで研究会報告ファイルがダウンロード可能となる予定です。

\* 年間購読を申し込むと、年 6 回の定例研究会と 1 回の特集研究会の計 7 回分の研究報告を読むことができます。申込方法等は、こちら(<http://www.jsise.org/utility/information/20160222.html>)をご覧ください。

### ■趣旨

絶え間なく生み出され社会に浸透していく多様な技術は、次世代教育・学習環境を設計・開発・実践する上で欠かせません。スマートフォンやタブレット端末、クラウドコンピューティングや IoT、ディープラーニング、ロボットなど、すでに現場にも導入されている技術から、これからの活用が期待される新技術まで、それらを利用した教育・学習環境の構築や授業設計は非常に重要です。

2016 年度第 5 回研究会では、技術駆動型(テクノロジードリブンな)次世代教育・学習環境について、そのための教授設計も含め、システム・基礎技術の開発、実践、ならびに、新しい教育・学習手法に関する幅広い研究発表の場、共に考える議論の場としたいと思います。

■タイムテーブル 発表時間は 25 分(発表 18 分、質疑 7 分)

[A会場]

10:10~10:20 開会挨拶・会場移動(10分)

(1) 10:20~10:45

研究活動における科学者の不正行動を抑制するための倫理教育システムの提案

○河合孝尚(長崎大学)、井内健介(徳島大学)、野内玲(信州大学)

(2) 10:45~11:10

テスト理論に基づいた項目分析支援システムの作問現場での活用と評価

○林貴史, 高木正則, 山田敬三, 佐々木淳 (岩手県立大学大学院)

(3) 11:10~11:35

変容的形成的評価をベースとした LAK システムのデザインの検討

○太田剛 (放送大学大学院), 森本容介, 加藤浩 (放送大学)

(4) 11:35~12:00

自己調整学習を主題とするビデオとオンラインレポートを活用した授業実践における学習者の意識調査

○仲林清 (千葉工業大学/熊本大学)

12:00~13:30 昼食 (1 時間 30 分)

(5) 13:30~13:55

教材の配置支援ツール開発に向けた既存コースの分析

○大西淑雅, 山口真之介, 西野和典 (九州工業大学)

(6) 13:55~14:20

フランス詩を用いたフランス語学習 WEB サイト「ぼえふら」の設計と構築

○廣田大地 (神戸大学)

(7) 14:20~14:45

聞き取り箇所の正答率集計機能を備えた英語リスニング学習支援システムの開発

鷹野孝典, ○栗原準, 石川俊明, 上村航平, 笠井貴之 (神奈川工科大学)

(8) 14:45~15:10

大規模コーパスを用いた言語処理に基づく英語複合名詞の学習支援

○岩田陽也, 梅村祥之 (広島工業大学大学院)

(9) 15:10~15:35

英語プレゼン学習支援アプリケーションにおける音声特徴抽出アルゴリズムの検討

○窪田知也, 堀智子, 吉本定伸, 小嶋徹也 (東京工業高等専門学校)

15:35~15:45 閉会挨拶 (10 分)

[B会場]

(10) 10:20~10:45

Penumbra! Tourism: 観光を指向した ICT 活用型防災教育の提案

○光原弘幸 (徳島大学大学院), 井上武久, 山口健治, 武知康逸, 森本真理 (株式会社オプトピア), 上月康則, 井若和久, 獅々堀正幹 (徳島大学大学院)

(11) 10:45~11:10

Google ストリートビューを用いたバーチャル避難訓練システム

○室川優希 (徳島大学工学部), 光原弘幸 (徳島大学大学院), 井上武久, 山口健治, 武知康逸, 森本真理 (株式会社オプトピア), 上月康則, 井若和久, 獅々堀正幹 (徳島大学大学院)

(12) 11:10～11:35

Android タブレット端末を用いた小学校での安全マップ活動支援アプリケーションの機能改善

○戸松和紀, 松岡利人, 渥美亮祐, 吉本定伸 (国立東京工業高等専門学校)

(13) 11:35～12:00

タブレット PC を用いた肢体不自由者の入力操作測定用アプリケーションの開発

○細川良輔, 吉本定伸 (東京工業高等専門学校), 金森克浩 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所), 佐野将大 (香川県立高松養護学校)

12:00～13:30 昼食 (1 時間 30 分)

(14) 13:30～13:55

キネクト v2 による肢体不自由者向け腕トレーニングシステムの改善

○佐藤万里樹, 吉本定伸 (国立東京工業高等専門学校), 谷本式慶 (東京都立八王子東特別支援学校)

(15) 13:55～14:20

Android 端末を用いた認知機能評価のためのアプリケーション開発

○松岡利人, 渥美亮祐 (国立東京工業高等専門学校), 小久保奈緒美, 横井優磨 (国立精神・神経医療研究センター), 齊藤勇二 (国立東京工業高等専門学校), 村田美穂, 堀越勝 (国立精神・神経医療研究センター), 吉本定伸 (国立東京工業高等専門学校)

(16) 14:20～14:45

ロボットを活用した小学生のための認知症サポーター育成教材の開発

○村嶋琴佳 (大阪府立大学), 榊田聖子 (関西医療大学), 真嶋由貴恵 (大阪府立大学)

(17) 14:45～15:10

食育支援システムの開発と効果 ～児童と保護者双方の食生活の改善～

アブドサラムダウティ (新疆大学), ○清水佑起 (東京電機大学), 中山洋 (東京電機大学)

(18) 15:10～15:35

プログラミング教育のためのメモ用紙活用における電子ペーパー利用の試み

○伊藤恵, 椿本弥生, 白石陽, 奥野拓 (公立はこだて未来大学)

## ■懇親会

研究会終了後、愛媛の名物料理を囲む懇親会を開催する予定です。懇親会等についての問い合わせや参加希望のご連絡は下記の担当者までご連絡ください。

## ■研究会案内・お問い合わせ

第5回研究会担当委員 (代表: 徳島大学理工学部 光原 弘幸)

E-mail: jsise-sig-5th@googlegroups.com



## 2016 年度第 6 回研究会 発表募集

担当：西野和典，西端律子，浅羽修丈，永田奈央美，長谷川理，鷹岡亮（研究会委員会）

■テーマ：ICT を活用したアクティブ・ラーニング／新教育課程／一般

■開催日：2017 年 3 月 18 日（土）

■開催場所：北九州市立大学北方キャンパス

（〒802-8577 北九州市小倉南区北方 4 丁目 2 番 1 号）

<https://www.kitakyu-u.ac.jp/access/kitagata.html>

■発表申込締切：2017 年 1 月 17 日（火）

■原稿提出締切：2017 年 2 月 7 日（火）

### ■趣旨

2020年度からの学習指導要領等の改訂に向けて、基本的な方向性が示されています。そこでは、「どのように学ぶか」「子供一人一人の発達をどのように支援するか」「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「何が身に付いたか」の観点がポイントとなっています。「どのように学ぶか」「どのように支援するか」という観点からは、児童・生徒・学生に求められる能力・資質を育む手法として、「主体的・対話的で深い学び」いわゆるアクティブ・ラーニングの重要性が指摘されています。このアクティブ・ラーニングを実現するうえで、ICTの活用は効果的であると言われており、ICTの効果的活用を含む学習・指導方法、教材開発に関連する研究を推進することは重要であると考えられます。また、「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「何が身に付いたか」という観点からは、新教育課程では児童・生徒・学生に新たな能力・資質を求める（例えば、プログラミング的思考など）ことが検討されています。新教育課程で求められる能力・資質について研究を推進することも重要であると考えられます。

そこで、第6回研究会では、将来の情報教育を見据えた教育・学習方法や教育・学習内容についての研究や議論を深めるため、「ICTを活用したアクティブ・ラーニング／新教育課程」に関連する研究発表を募集します。また、教育の情報化に関連した研究発表や一般研究発表も幅広く募りますので、奮ってご投稿ください。

■発表申込および原稿提出は、下記、「申込者情報登録」、「申込者ログイン」よりお願いします。

申込者情報登録：[https://iap-jp.org/jsise/course1/personal\\_detail.php](https://iap-jp.org/jsise/course1/personal_detail.php)

申込者ログイン：<https://iap-jp.org/jsise/course1/login.php>

注）研究会予稿集電子化に伴い、「執筆要項」や「講演申込・原稿の投稿方法」を変更致しました。

以下のページをご確認ください。

研究会執筆要領：<http://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf>

研究会報告見本：<http://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf>

研究会報告ひな形：<http://www.jsise.org/society/doc/sample.docx>

■オンライン講演申込・原稿投稿方法：

<http://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

■発表時間は 25 分（発表 17 分，質疑 7 分，入れ替え 1 分）を予定しております。

■懇親会：特集号研究会と合同で，小倉駅付近で懇親会（4,000～5,000 円程度）を予定しております。後日，第 6 回研究会 Web ページに申込方法（申込先や申込締切日等）を掲示しますので，ご覧下さい。

■お問い合わせ先：浅羽修丈（北九州市立大学，第 6 回研究会担当委員）

E-mail：n-asaba@kitakyu-u.ac.jp

（「@」の部分は、半角の「@」に変えて下さい）



## 2016 年度特集論文研究会 発表募集

担当：西野和典（九州工業大学），笠井俊信（岡山大学），國宗永佳（信州大学），  
光原弘幸（徳島大学），布施泉（北海道大学），田中孝治（北陸先端科学技術大学院大学）

■テーマ：—安心・安全な社会に貢献する教育システム—

—プログラミング・情報技術教育に関する実践・支援システム—

■開催日：2017年3月18日（土）

■開催場所：北九州市立大学 北方キャンパス（北九州市小倉南区北方4丁目2番1号）

<http://www.kitakyu-u.ac.jp/access/kitagata.html>

■発表申込締切：2017年1月17日（火）

■原稿提出締切：2017年2月7日（火）

■趣旨

### A) 安心・安全な社会に貢献する教育システム

教育・学習は、安心・安全な社会を基盤としてより良く発展していきます。しかし、安心・安全な社会を維持するために我々が取り組むべき課題は多様かつ複雑化しています。このような状況において、大規模自然災害やテロリズムのみならず、事故や感染症など日常生活に潜むさまざまなリスクについて教育・学習することは重要であり、安心・安全な教育・学習環境を構築することも急務です。これらのことに ICT が大きな役割を果たすことは言うまでもなく、安心・安全な社会に貢献する教育システムの充実が期待されています。以上のような状況を踏まえ、本特集論文研究会では、防災・減災、医療・看護・福祉、セキュリティ、情報モラル、情報リテラシ、情報・教育インフラなどの幅広いトピックを対象に、安心・安全な社会に貢献する教育システムに関する研究発表を広く募集いたします。

### B) プログラミング・情報技術教育に関する実践・支援システム

従前より ICT 技術者を目指す学生や、関連業種に就いた際の研修などにおいて、プログラミングおよび情報技術（ネットワーク、データベースなど）の教育が重視されてきました。一方、ICT 技術は社会において遍在的な存在となっており専門的な技術者育成の場以外においても、これらの教育が広く実施されつつあります。特に近年においては、情報教育の一環として小・中学生、高校生に対してプログラミング教育の導入が順次進められているとともに、私塾においてプログラミング学習の場が設けられるようになってきました。また、中等教育においては、プログラミングのみならず、情報科学・技術の基礎について学習することも求められています。以上の背景をふまえて、本特集論文研究会では、様々な学習者に対して必要とされるプログラミング・情報技術教育に関する実践や支援システムに関する研究発表を広く募集いたします。

本研究会は 2018 年 4 月発刊予定の本学会誌論文特集と連動した企画となっており、希望者には本特集への投稿論文執筆に役に立つコメントを提供させていただきます。発表者は、コメント希望の有無で 2 種類の発表形式を選択できます。コメントを希望されます場合には、研究会委員ならびに編集委員会委



員が分担して、ご提出いただいた研究会原稿を拝読し、研究会での発表時にコメントを提供させていただきます。このコメントを参考にいただき、論文特集にご投稿いただきたいと思いますと考えております。多くの発表申し込みをお待ちしております。

[学会誌特集号の論文募集はこちら] ([http://www.jsise.org/journal/cfp2017\\_offer.html](http://www.jsise.org/journal/cfp2017_offer.html))

## ■主な対象分野

本特集論文研究会では、近年社会における需要が急速に高まっている2つのテーマ、「A) 安心・安全な社会に貢献する教育システム」と、「B) プログラミング・情報技術教育に関する実践・支援システム」に関する研究発表を広く募集いたします。キーワードは、次の通りですが、これに限定されるわけではありません。A), B) のテーマのいずれかに関わる研究であれば、本研究会の対象となります。

A) 防災・減災, 医療・看護・福祉, セキュリティ, 情報モラル, 情報リテラシ, 情報・教育インフラ, 安全教育, ビッグデータ, ゲーミング・シミュレーション, 可視化, GIS (地理情報システム), IoT, SNS, VR/AR, モバイル/ユビキタスシステム, センシングシステム, クラウドコンピューティング, 携帯情報端末, マルチメディア, リスクマネジメント, 認知・心理, 教師教育, 安心・安全の評価 など

B) 情報通信技術, 情報科学, 初学者向け教育, 技術者育成, 初等教育, 中等教育, 高等教育, プログラミング言語, ビジュアルプログラミング環境, アルゴリズム, モデリング, アンプラグド・コンピュータサイエンス, 論理的・創造的思考, プログラミング的思考, computational thinking, ネットワーク, データベース, ハードウェア連携, 計測・制御, IoT, ICT環境整備, 教員研修 など

## ■発表申込および原稿提出方法

注) 研究会予稿集電子化に伴い、「執筆要項」や「講演申込・原稿の投稿方法」を変更致しました。以下のページをご確認ください。

- ・研究会執筆要領 : <http://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf>
- ・研究会報告見本 : <http://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf>
- ・研究会報告ひな形 : <http://www.jsise.org/society/doc/sample.docx>
- ・オンライン講演申込・原稿投稿方法 : <http://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

注) コメント希望の有無は、オンライン講演申込の際に、「論文閲覧希望」欄にご入力ください。コメント希望有の場合は加えて、「要旨」欄の末尾に投稿予定カテゴリ(一般論文, 実践論文, ショートノート, 実践速報, 未定)をご記入ください。講演申込後にコメント希望を変更される際は、オンラインで変更してください。変更できない場合は、下記の担当者までご連絡ください。

- ・「有」の場合の発表時間は40分(発表20分, 質疑20分)を予定
- ・「無」の場合の発表時間は25分(発表20分, 質疑5分)を予定

## ■懇親会

研究会終了後、第6回研究会と合同で懇親会を予定しています(会費は4,000~4,500円を予定)。懇親会についての問い合わせや参加希望のご連絡は下記の担当者までご連絡ください。参加人数を把握するために、2017年2月末日までにお申し込みをよろしくお願いいたします。

## ■研究会案内・お問い合わせ

- ・特集論文研究会案内 : [http://www.jsise.org/society/committee/2016/PROGRAM\\_special.html](http://www.jsise.org/society/committee/2016/PROGRAM_special.html)  
光原弘幸(編集委員会・幹事) E-mail: [mituhara@is.tokushima-u.ac.jp](mailto:mituhara@is.tokushima-u.ac.jp)



## 研究会報告の電子化のお知らせと年間購読の申込みについて

研究会の研究報告が、2016年度から電子化されることになりました！

研究報告は、現在30巻を数え、これまで教育システム情報学に関して毎年150件程度の研究成果(2013年度155件、2014年度139件の発表論文)を掲載し、大変多くの皆様にご購読いただいております。

印刷媒体での研究報告では、研究会当日の閲覧のために持ち運びが必要であったり、保管や管理等が煩雑であったかと思いますが、このたびの電子化によって、オンライン上で研究成果のタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となり、さらに保管などの手間もなく、益々便利に活用できるようになります。

つきましては、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得となっております。

- 年間購読：4,000円（定例研究会年6回、特集研究会1回、計7回分を含む）
- 当日販売：1冊1,000円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。

すでに年間購読をいただいている方は手続き不要です。自動的に研究報告の電子化に移行させていただきます。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局（[secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)）まで年間購読申込をしてください。

=====  
※研究報告年間購読希望  
会員番号（お分かりであれば）：  
お名前：  
所属：  
連絡先 e メールアドレス：  
=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局（[secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)）までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。



## 2016 年度 JSiSE 学生研究発表会 発表者募集のお知らせ（第 2 報）

教育システム情報学会 人材育成委員会

関係者各位,

平素は、教育システム情報学会の活動にご協力頂き、ありがとうございます。

さて、教育システム情報学会 人材育成委員会では、恒例の「学生研究発表会」を下記の通り企画しました。発表してみたいけれども学会はちょっと…という学生諸君、自分の研究に関して、広くアドバイスを求めたい、力試しをしてみたい、という院生諸君、指導教員として、年度のまとめとして発表させたい、とお考えの先生方、ふるって発表申し込みのほど、お願い申し上げます。

### 1) 開催地区・開催都市 開催場所・開催日 実行委員長情報

開催地区 開催都市	開催場所・開催日 実行委員長（連絡先）
北海道 千歳市	千歳科学技術大学 2017年3月4日（土） 小松川浩（千歳科学技術大学） <a href="mailto:hiroshi@photon.chitose.ac.jp">hiroshi@photon.chitose.ac.jp</a>
北信越 長野市	信州大学教育学部 2017年3月4日（土） 新村正明（信州大学）（仮） <a href="mailto:hse-submit@jsise.org">hse-submit@jsise.org</a>
関東 銚子市	銚子（予定） 2017年2月28日～3月1日（合宿形式） 山本樹（尚美学園大学） <a href="mailto:t-yamamoto@b.shobi-u.ac.jp">t-yamamoto@b.shobi-u.ac.jp</a>
東海 名古屋市	愛知県立大学サテライトキャンパス（名古屋駅前） 2017年3月6日（月） 浦尾彰（鈴鹿工業高等専門学校） <a href="mailto:urao@info.suzuka-ct.ac.jp">urao@info.suzuka-ct.ac.jp</a>
関西 大阪市	関西学院大学大阪梅田キャンパス 2017年2月28日（火） 河野稔（兵庫大学） <a href="mailto:kawano@hyogo-dai.ac.jp">kawano@hyogo-dai.ac.jp</a>
中国 広島市	広島工業大学五日市キャンパス 2017年2月下旬～3月上旬 松本慎平（広島工業大学） <a href="mailto:s.matsumoto.gk@cc.it-hiroshima.ac.jp">s.matsumoto.gk@cc.it-hiroshima.ac.jp</a>
四国 高松市	香川大学幸町キャンパス 2017年3月3日（金） 林敏浩（香川大学） <a href="mailto:hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp">hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp</a>
九州 福岡市	九州工業大学サテライト福岡天神 2017年3月7日（火） 坪倉篤志（日本文理大学） <a href="mailto:tsubokura@nbu.ac.jp">tsubokura@nbu.ac.jp</a>
沖縄 那覇市	琉球大学総合情報処理センター2F第3実習室 2017年3月3日（金） 谷口祐治（琉球大学） <a href="mailto:taniguchi@cc.u-ryukyu.ac.jp">taniguchi@cc.u-ryukyu.ac.jp</a>

※各種情報が未定箇所は今後のニューズレターなどでご連絡いたします。

## 2) 発表方法：

\* 研究発表（口頭発表） \* ポスター発表（会場によっては募集しておりません。）

## 3) 発表資格：

大学生（短大生，高専4・5年生・専攻科を含む），大学院生（修士課程，博士課程在籍者）．社会人学生も参加可能です．

\* JSiSE 正会員である推薦人（指導教員または関係者）の推薦が必要です．

\* 留学生の方の発表（英語・日本語）の発表も歓迎します．

\* 発表場所（地区）は，自分の所属する大学等の場所と一致していなくても結構です．

\* 発表申し込み方法：以下の「JSiSE 学生研究発表会発表申込方法」参照のこと

以上

## JSiSE 学生研究発表会 発表申込方法

### ◆発表申込について

電子メールにて，以下の7項目を記入した発表申込書（末尾記載）と発表要約を添付書類にして，2017年1月27日（金）までに希望する開催場所（地区）の連絡先メールアドレスに送ってください．送り先は，「開催地区・開催都市一覧」を参照のこと．所属大学の所在地にかかわらず，どの開催場所で発表しても構いませんが，JSiSE 正会員である推薦人（指導教員または関係者）とあらかじめ相談しておいてください．

項目：①氏名（ふりがな） ②学校名 ③学部・学年 ④JSiSE 正会員である推薦人の 所属・氏名・E-Mail アドレス ⑤発表希望場所 ⑥口頭発表希望 or ポスター発表希望（地区によっては無いところがあります．）⑦発表題目と発表要約（200字程度）

### ◆発表の採否について

発表の採用・不採用については，実行委員会で発表要約を審査後，2017年2月3日（金）までに結果を通知します．発表希望件数が多数の場合は，推薦人1名あたりの発表件数を制限させていただく場合があります．ご了承ください．

### ◆発表原稿と発表について

発表が採用された場合は，2月13日（月）までに発表原稿を提出いただきます．発表原稿は希望する開催場所（地区）の実行委員長のメールアドレスに e-mail に添付して送ってください．発表原稿は，

① フォント埋め込み済みの PDF に限ります．②原稿枚数はA4サイズで2ページ以内です．

③ 原稿にページ数を入れないで下さい．④発表申込書に記載した発表題目から変更する場合はその旨を必ず連絡ください．

発表原稿フォーマットは，JSiSE 全国大会発表フォーマット（注）に従うものとします．発表時間は，研究発表1件につき20分（発表15分，質疑応答5分）の予定です．優秀な発表は，学会長名にて表彰します．詳しくは，開催地区の実行委員長にご確認下さい．

（注）JSiSE 全国大会発表フォーマットは下記などからダウンロードして利用ください．

<http://www.jsise.org/taikai/2016/template/template.docx>

<http://www.jsise.org/taikai/2016/template/template.pdf>

また、発表原稿といっしょに著作権利用許諾書を提出ください。著作権利用許諾書の様式は以下からダウンロードしてください。

<http://www.jsise.org/utility/copyright.html>

2016 年度 JSiSE 学生研究発表会 発表申込書

代表者氏名（ふりがな）	
学校名	
学部・学年	
JSiSE 正会員である推薦人の所属・氏名・E-Mail アドレス	
発表希望場所	
口頭発表希望 or ポスター発表希望	
発表題目	
発表要約（200 字以内）	
注意： 発表原稿の題名，発表者名（共著者を含む），発表者の所属，発表原稿の内容は，学会本部の Web サイトに 1 年程度掲載（閲覧には簡単なパスワードが必要）します。	



## 北信越支部主催ワークショップ 「成果発表を磨く」開催・募集のお知らせ

北信越支部では、広く教育工学、教育システム情報学を研究する学生・若手研究者の自己研鑽を支援するため、【成果発表を磨く】というワークショップを開催してまいりました。

内容は、論文執筆を目標とした研究のまとめかたに関する講演とともに、学位取得を目指す博士生や論文投稿を目指している修士生による研究発表と、論文執筆と目標とした議論を行うものです。

過去の2回のワークショップでは、講演をいただいた仲林会長や北信越支部会員の教員より、多くのコメントもいただきました。これらの様子は、北信越支部の Web サイトや Facebook にてご覧いただけます。

また、数多くのコメントをいただいた博士課程学生のみなさんは論文採録1名、国際コンペ表彰1名、学位取得2名など。それぞれに成果をあげていらっしゃいます。

いままでは、北信越支部を対象としておりましたが、今年度より、全地区の学生会員もしくは、会員の皆様が指導されていらっしゃる学生を対象としたワークショップへと拡大いたします。

本年度は

**2017年3月3日(金) 信州大学教育学部（長野県長野市）**

で開催を予定しております。

このワークショップは、北信越支部学生研究発表会との併催となっており、学生研究発表会の発表募集とあわせて募集いたします。

詳細は、北信越支部 Web サイトまたはメーリングリストを通じてご案内いたします。

「成果発表を磨く」実践的な機会です。是非、登壇もご検討ください。みなさまのご参加をお待ちしております。

北信越支部 Web サイト：<http://www.jsise.org/hse/>

北信越支部 Facebook：<https://www.facebook.com/jsisehse/>

## 東海支部より活動報告

[講演会]

■日時：2016年10月1日(土) 14:00～

■会場：名古屋工業大学1号館813室

■講師：鈴木聡先生（大阪経済法科大学）

演題：「反転学習とペアプログラミングによる大学生のプログラミング学習の実践」

高度情報化・複雑化する現代において、プログラミングやICT活用、他者との協調を通じ自発的に問題を解決する能力の養成は急務である。これを踏まえ、工学系学部生対象のプログラミング実習において、動画による事前学習とペアプログラミングによる対面授業からなる反転授業を導入した。そして学習支援システム上の各種データの分析により高成績学生・低成績学生の学習行動の違いを検討し、今後の学習環境改善の提案を試みた。





## Twitter アカウント開設しました

8月下旬より、全国大会開催に合わせて学会の公式 Twitter アカウントを開設しました。本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております。本学会へのご質問・お問い合わせは、学会事務局分室 (secretariat@jsise.org) へお願いします。また、Facebook アカウントとの連携も行っており、Facebook ページの投稿が Twitter にも流れますので、ぜひご活用（フォロー）ください。

<https://twitter.com/JsisePr>

◇ 2016年9月25日現在、フォロワー数 123 アカウント



## Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会では Facebook ページを運用しています。本ページでは、

- ・論文・発表募集
- ・本学会に関連するイベントの情報

などを、いち早くお届けします。ぜひ、ご覧下さい。

Facebook ユーザの方は、ぜひ、「いいね」をお願いいたします。

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

◇ 2016年9月25日現在、いいね 265 件





## 他団体 協賛・後援のお知らせ

協賛 「高校教科『情報』シンポジウム 2016 秋 - ジョーシン 2016 秋」

日時：2016 年 10 月 29 日（土）

会場：早稲田大学西早稲田キャンパス（理工学部）

<http://sigps.eplang.jp/index.php?%B9%E2%B9%BB%B6%B5%B2%CA%A1%D6%BE%F0%CA%F3%A1%D7%A5%B7%A5%F3%A5%DD%A5%B8%A5%A6%A5%E0>

後援 「第 16 回日本情報オリンピック」

日時：予選：2016 年 12 月 11 日（日）

本選：2017 年 2 月 11 日（土）・12 日（日）

会場：つくば国際会議場・国立オリンピック記念青少年総合センターほか

<http://www.ioi-jp.org/joi/2016/>

協賛 「モバイル学会：シンポジウム ‘モバイル’ 17」

日時：2017 年 3 月 9 日（木）～10 日（金）

会場：大阪大学人間科学部

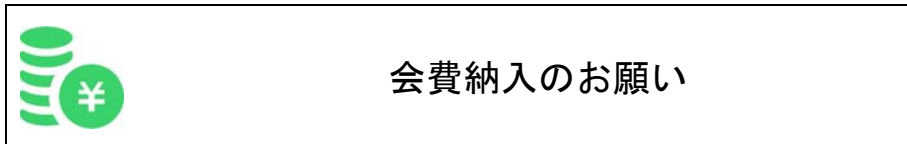
[http://www.mobilergo.com/siteapps/1022/htdocs/?page\\_id=896](http://www.mobilergo.com/siteapps/1022/htdocs/?page_id=896)

協賛 「IEEE-SMC2018」

日時：2018 年 10 月 7 日（日）～10 日（水）

会場：シーガイア国際会議場（宮崎市）

<http://www.smc2018.org/>



2016 年度年会費納入についてのお願いです。学会の活動は皆様の会費で支えられていますので、ご協力のほどどうぞよろしくお願ひします。

- 「クレジット決済」、「コンビニ決済」をご希望の方は、下記のマイページよりお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託  
をしております、株式会社国際文献社のものになります。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

#### ■振込先

##### ◆ゆうちょ銀行

口座記号番号：00180-6-709632

加入者名：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）

店名：〇一九 店（ゼロイチキユウ店） 預金種別：当座 口座番号：0709632

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

##### ◆三菱東京 UFJ 銀行（金融機関コード：0005）

店名：上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別：普通 口座番号：0142708

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

##### ◆みずほ銀行（金融機関コード：0001）

店名：茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別：普通 口座番号：1399483

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
  - 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（[secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)）までご連絡ください。
- ※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。

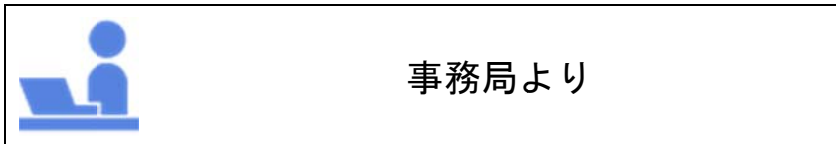
## 【2015年度あるいはそれ以前の会費を支払われていない方】

マイページでは、すべての会費が合算された金額が請求されます。先に2015年度分のみのお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局（[secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)）までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、定款の定めに従って除名手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局（[secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)）までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター  
Tel:03-5937-5816 Fax:03-3368-2822 Email : [secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)



## 会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものになります。

■会員専用ページでは、以下のことが可能になります。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、名簿システム (2015 年 1 月にログイン) でご利用いただいた ID とパスワードが必要となります。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



## 学会誌・研究会報告のバックナンバーのお求めは

(株)毎日学術フォーラムまでお申し込みください。

株式会社 毎日学術フォーラム

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 2 階

TEL : 03-6267-4550 / FAX : 03-6267-4555

Mail : maf-sales@mycom.co.jp / URL : <http://maf.mycom.co.jp>

■JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局分室までご連絡ください。

この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。

■年間購読料 4,000 円 / 年 6 回発行 <送料込>

## 新入会員のご紹介

下記の皆様が新しくご入会されました。 2016年7月21日～2016年9月20日

氏名	会員種別
永井 立雄	正会員（購読）
ROUX Petrus Willem	正会員
河内 康文	正会員
中原 陽三	正会員
佐渡山 要	学生会員
上野 春毅	学生会員（購読）
岡本 恭介	正会員

氏名	会員種別
河合 孝尚	正会員（購読）
小川 真里江	正会員
名知 浩一郎	学生会員
大田 博	正会員
金子 徹哉	正会員
斎藤 正武	正会員
有田 亜希子	正会員（購読）

## 入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。後日、事務局から入会金や年会費のお支払い方法などをメールにてご案内いたします。教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

URL: <http://www.jsise.org/admission/index.html>

### ☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、入会金を無料にさせて頂くというキャンペーンを行っております。そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。